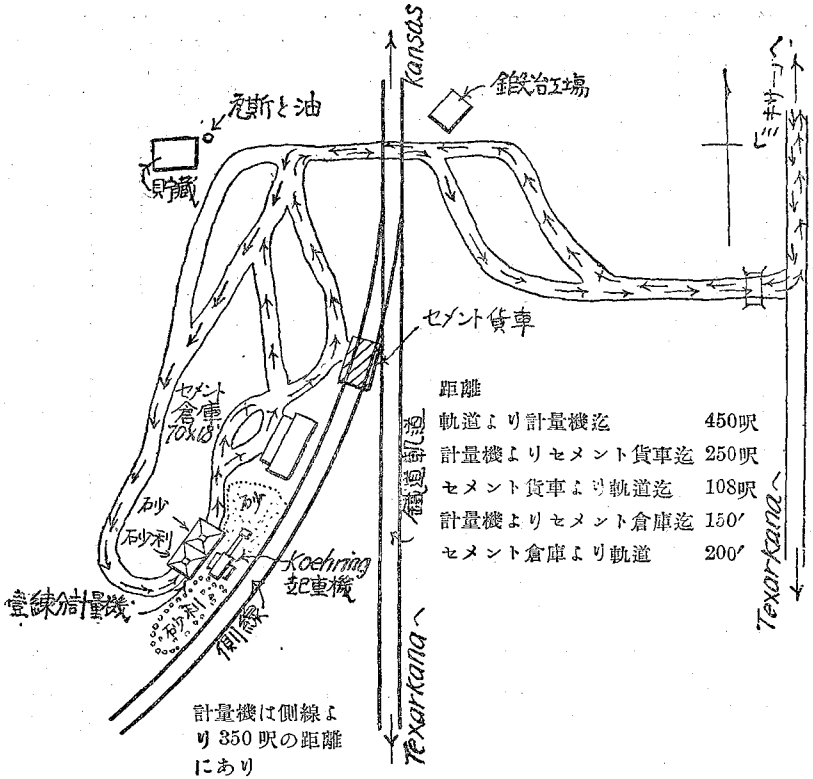

計量機は側線より350呎の距離にあり

第五十二圖　材料置場の設備

道路損傷負擔金制度の反對

日本乘合自動車協會とやら言ふ團體から、内務大臣に對して道路損傷負擔金を徴收してはならぬやうに、各地方長官に示達して貰ひたいと言ふ陳情書を出したそうだ、今日本で賦課されてゐる自動車税は各國に比較すると隨分高いものだ、併し吾々は公共の用を勤める爲に多大の犧牲を拂つてゐる、夫れに負擔金まで取られては結局夫れを乘客に轉嫁せなければならぬ樣になつて公衆が迷惑するから免除せよと言ふのである。

隨分得て勝手な陳情だ、今道路を毀すものは何だかと言ふことを少しは考へて見るが可い、卿等の使用してゐる、自動車ではないか併かも卿等は夫れに依つて資本家生活をしてゐる、夫れに其事業に依つて生ずる道路の損傷を一般人の負擔で處辨することは餘りに蟲が良過ぎる。乘客に轉嫁することは許さない。卿等の懐に這入る不當利益の内を取ろうとするのだ、税金が高ければ減税の運動でもなさい。（た）